

1 提案者 氏名 駒村 有紀（信濃町立信濃小中学校）

## 2 提案内容

（１）単元名 「古代までの日本 日本列島の誕生と大陸との交流 大王の時代」

（２）利用した番組名「アクティブ１０ レキデリ ヤマト王権はどうやって権力を広げた？」

### （３）授業のねらい

稲作の伝来によって王が登場し、くにが大きくなっていったことを学習した生徒が、大陸との交流の中で新しい知識や技術を手にいれた人々が多くの人を従える力をもっていくことを学習する場面で、教科書や資料集、映像資料の読み取りを通して、具体物（資料）と歴史的事実を関連付けて考えることができる。

### （４）授業の実践記録

| 段階  | 学習活動                                         | 児童・生徒のようす                                                                                                     | 指導・助言                                                                                  | 備考 |
|-----|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 導 入 | 復習（全体）<br>弥生時代後期の国内の様子を文献資料<br>→前方後円墳の分布図や写真 | ・日本には百以上の国があった<br>・奴国の王や、邪馬台国の卑弥呼のような王が登場した<br>・古墳って6年生の時やったよ<br>・前方後円墳が日本中に広がっているね                           | ・事前にクラスルームに今日のルーブリックと学習の進め方を提示<br>・各自それを見ながら進める                                        |    |
|     | 学習問題の確認<br>→追究課題設定                           | 【学習問題】大和政権はどのように勢力を広げ、中国や朝鮮半島とどのような交流をしたのでしょうか                                                                |                                                                                        |    |
| 展 開 | 情報収集<br>映像視聴（全体）<br>教科書を読む                   | ・弱い国をどんどん従えて勢力を広げていったんじゃないかな<br>・当時は鉄が貴重で権力の象徴だったことがわかった<br>・貴重な鉄は渡来人によって朝鮮半島から運ばれていた<br>・渡来人によって須恵器や漢字も伝えられた | ・教科書を読んでわかったこと、映像を見てわかったことをスプレッドシートに入力<br><br>・短い言葉でわかりやすくまとめる（写真やシンキングツールを必要に応じて活用する） |    |
|     | 情報の整理・分析<br>集めた情報をスライドに整理する                  |                                                                                                               |                                                                                        |    |
| まとめ | まとめの発表                                       | ・大和政権は大陸との交流で、当時日本では、貴重だった鉄をたくさんもらって、他の国々を支配し、勢力を広げていった。                                                      | ・発表の仕方、内容・まとめ方のちがいに注目し、いいところ参考にしたいところを見つける                                             |    |
|     | ふりかえり                                        |                                                                                                               |                                                                                        |    |

## （５）考察

- ・スプレッドシートにメモを取りながら映像を視聴することで、受動的な活動になることを防ぐことができた
- ・映像視聴後に教科書を読むことで、より理解が深まった
- ・学び方（教科書ベースで進める・映像を見返す・個人で・友達と相談など）を自分で選択することで、自分が学びやすい方法で進めることができ、低学力の生徒も自分の力で情報を集めることができたが、情報の整理やまとめ方には課題がある（低学力の生徒の方が、時間がかかる→まとめ方の参考例を提示し、時間を短縮できるよう工夫）
- ・「教えあう」というよりも、友達との会話の中で自然に疑問が解決していく姿があった
- ・友達のまとめの発表を聞くことで、自分のまとめをよりよいものにしようとする姿が見られた

## （６）番組への要望

今後も、生徒の興味を引き付けたり、学びを深めたりしていくための教材として利用していきたいと思っています。NHK for school 内の映像資料を検索した際に、クリップとして出てくる映像がどの番組のものなのかわかるようにしていただけるとありがたいです。